



経済に効く!?

九州の健康食品通販事情

「健康でありたい」「長生きしたい」「いつまでも美しくいたい」という、不老長寿の願いは多くの人が望むところだろう。社会の高齢化が進むにつれて、その要求はますます高まっている。

総務省「家計調査年報(家計収支編)」によると、総世帯のサプリメントなど「健康保持用摂取品」にかかる年間支出額は、2005年をピークに下落、しばらく横ばいが続いていた。だが10年の調査では約1万3000円と、前年比約1500円増加した。

健康食品は錠剤や水に溶かすだけの粉末など、摂取する手軽さが受けている。なかでも九州の通信販売(通販)型の健康食品販売業者は全国的にも強さを誇る企業が多い。群雄割拠の九州、その強さの理由を追う。

販売人気質が生んだ強さ

九州の有力産業にまずはデータで九州の実情を見てみよう。情報調査業の帝国データバンク福岡支店(福岡市中央区)は11年2月、「九州・沖縄地区健康食品販売業者の経営実態調査」を同社で初めてまとめた。食品形状の保健機能食品と健康補助食品の販売額が、売上高の中で最も大きい企業を対象にしている。

09年4月期 10年3月期
売上高をベースにした同調査の売上高ランキングによれば、「皇潤」のエバーライフ(同)が約263億円でトップ。2位はメディア・ブライズ(同)で約262億円、やずや(福岡市南区)が約261億円で3位になった。4位キューサイ(同中央区)、5位えがお(熊本市)と続く。最新の決算ベースでは順位変動の可能性もあるが、福岡市内に本社を置く4企業が上位を占めた。

健康食品市場は1兆2兆円規模と言われる。仮に2兆円と見積もったとしても、九州の売上高上位50社の売上高合計は約2000億円と、1割規模を持つことも多いだろう。広告と九州

有名人の秘密

健康食品通販といえば、有名人が登場する番組やテレビCMを思い浮かべる人も少なくない。光本宣史本部長代理は「通販には独特のノウハウがあり、のれん分けのように広がっている」と解説する。そもそも現在テレビで流れる通販番組のスタイルは、福岡の広告制作会社が作りだしたもの。複数社提供で制作していた通販番組を1社にしたことが始まりだという。どうしてモバイルの専門出版社、宣伝会議九州本部(福岡市中央区)の門をたたいた。光本宣史本部長代理は「通販には独特のノウハウがあり、のれん分けのように広がっている」と解説する。そもそも現在テレビで流れる通販番組のスタイルは、福岡の広告制作会社が作りだしたもの。複数社提供で制作していた通販番組を1社にしたことが始まりだという。

チラシで地道なマーケティング

大手の脅威

好調に見える健康食品市場だが、帝国データバンクの江口部長は「事業者にとっては健康食品通販は曲がり角にきている」と話す。ここ数年、健康食品通販でよく目にするのが、大手食品メーカーの名前だ。サントリーやハウス食品、アサヒビールなど大手メーカーグループの存在感が大きくなっている。中小業者にとっては大手の圧倒的な知名度とブランドイメージが脅威となる。



原田晋吾氏キューサイ専務

企業が多くのことについて、は「博多の商売人気質」を挙げる。商売はもともと付加価値によって成り立つもの。健康食品は食品に健康という付加価値を足した最たるものだ。草分けに聞く。通販企業はどう見ているのか。「青汁の草分け」とも言えるキューサイを訪ねた。原田晋吾専務は福岡の企業が九州の業界を引っ張っているとした上で、「女性性によるきめ細かな対応や、運営が影響しているのではないかと話す。女性経営者としては、やずやの矢頭美世子会長が有名だ。またHRK(福岡県那珂川町)の岩本初恵社長は自らCMに出演してアピールしている。通販は手軽さが便利な反面、人同士の接点が少ない。企業の「顔」は見えにくい。そのなかで電話オペレーターとの会話は、人間同士の接点が少ない点だ。人材や教育が企業イメージを左右する。そのため明るくコミュニケーションがとれる九州の人材は評価が高い。また人件費の面でも関東や関西など大都市圏に比べてメリットは大きい。食品以外にもジャパネットたかた(長崎県佐世保市)や再春館製薬所(熊本県益城町)など、通販大手や有名企業があることも興味深い。加えてキューサイの原田専務は「東京から距離があるデメリットを、広告や通販のノウハウでカバーする必要がある。通販企業が集積していることも好循環を生む」と分析する。健康食品はあくまで「食品」であるため、効果効能を広告でうたうことは薬事法で禁止されている。そのため消費者には「元気になる」というイメージで訴えるしかない。広告戦略にも理由がありそうだった。

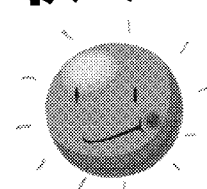
成長のカギは機能性と海外

新勢力

だが製品の差別化については、これから面白い展開があるかもしれない。九州では健康食品や機能性食品の集積化による「フード・健康アイランド九州」を目指した。地域を挙げた動きがある。自治体や企業、大学などが参加する九州地域バイオクラスター推進協議会(熊本県益城町)は九州各地の豊富な農産物を生かした、資源開発に取り組んでいる。

果がある成分を含む食品のこと。効果の高い成分を発見、効率的に抽出できれば、健康食品や化粧品に添加できることになる。対象は肉、魚介類、野菜のほか、キノコやイグサのような植物など幅広い。焼酎がすやフグひれなど、廃棄していたものの活用を見いだす方法としても注目される。九州各地で研究開発が活発化している。通販の届く先。健康志向や社会の高齢化は健康食品市場にとっては好材料だ。だが市場規模を大きく伸ばすには、海外に目を向けなければならぬ。健康志向は社会の成熟化とともに高まると言われる。通販に対する国民性や文化の違いの課題をクリアして、アジアの巨大市場を取り込むことができれば、日本経済にとって大きな成長要因となる。すでに九州の通販企業でも海外展開の動きがある。競争激化は必至だが、企業活動の活発化は景気浮揚に欠かせない。健康食品で、体だけでなく経済も元気にしてほしい。

秋冬キャンペーン実施中!!



太陽光発電システム

13年の実績で
安心・安全の設計・施工

「太陽の恵み」をそのままご家庭に



- ※自家発電により「節電効果」大!
- ※余った電機で「買電収入」!!
- ※災害時「自立運転」で使用可能!!!

まずは、お気軽にご相談ください!

無料お見積、シミュレーションなどはフリーダイヤル

0120-123-446

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。



西部電気工業株式会社

〒812-8565 福岡市博多区博多駅東3丁目7番1号
TEL (092) 418-3182 FAX (092) 418-3150
http://www.seibu-denki.co.jp

理研農産化工株式会社(代表取締役社長 野中修誠)はお陰様で創業94周年を迎えることができました。創業当初からの経営理念に「品質第一主義」がございます。佐賀県産小麦粉や国産大豆油の製品化、HACCP対応型小麦粉食品工場の新設等により「安全・安心・高品質な製品づくり」に真摯に取り組んでいます。



サラダ油・小麦粉といえば、
やっぱり理研

理研農産化工株式会社

福岡製油工場

佐賀製粉工場

http://www.riken-nosan.com

